

編集後記

△世界中の大学が今大きく動いている。別府大学とて全くの例外ではない。しかし、ともかく本誌を予定通り発行出来る状態にあることを喜びたい。

△われわれはいかなる悪情況下にあつても、研究を放棄したくないたとえ遅々として進捗しなくても、己の場を十分に踏まえて、執拗にアプローチしたいと思う。学問の不毛な地（大分県）であるが故に、小さくとも灯を掲げなければならぬと切に思う。

△ 本号には多くの原稿が寄せられた。前号同様忌憚なくご批評願えれば幸である。
(首藤)

別府大学国語国文学 第十一号

昭和四十四年十月二十五日発行

発行者 松本 義一

発行所 別府市北石垣
別府大学国語国文学会
電話(〇九七七)⑥一〇一
振替 下関 三八二八番

印刷所 別府市野口中町六一二〇
日新印刷株式会社
電話(〇九七七)③三二八番